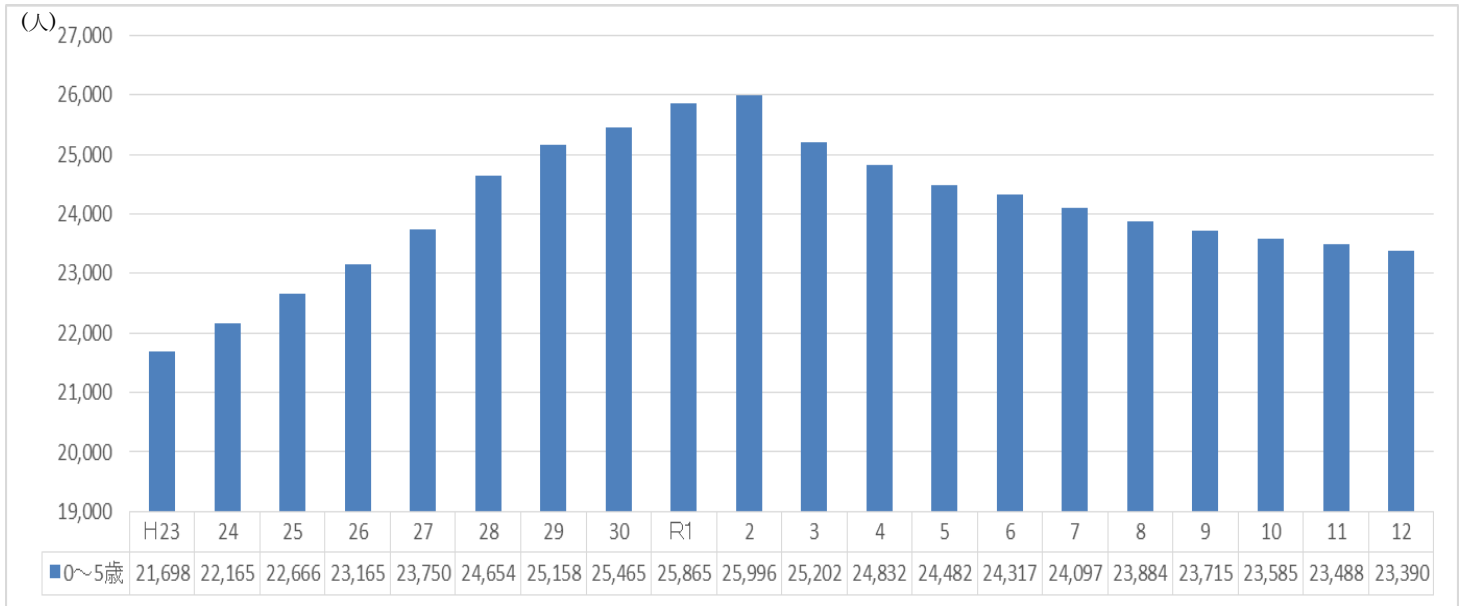


児童・生徒数等の推移について

(1) 0～5歳人口の推移（推計値含む）

(図 1)

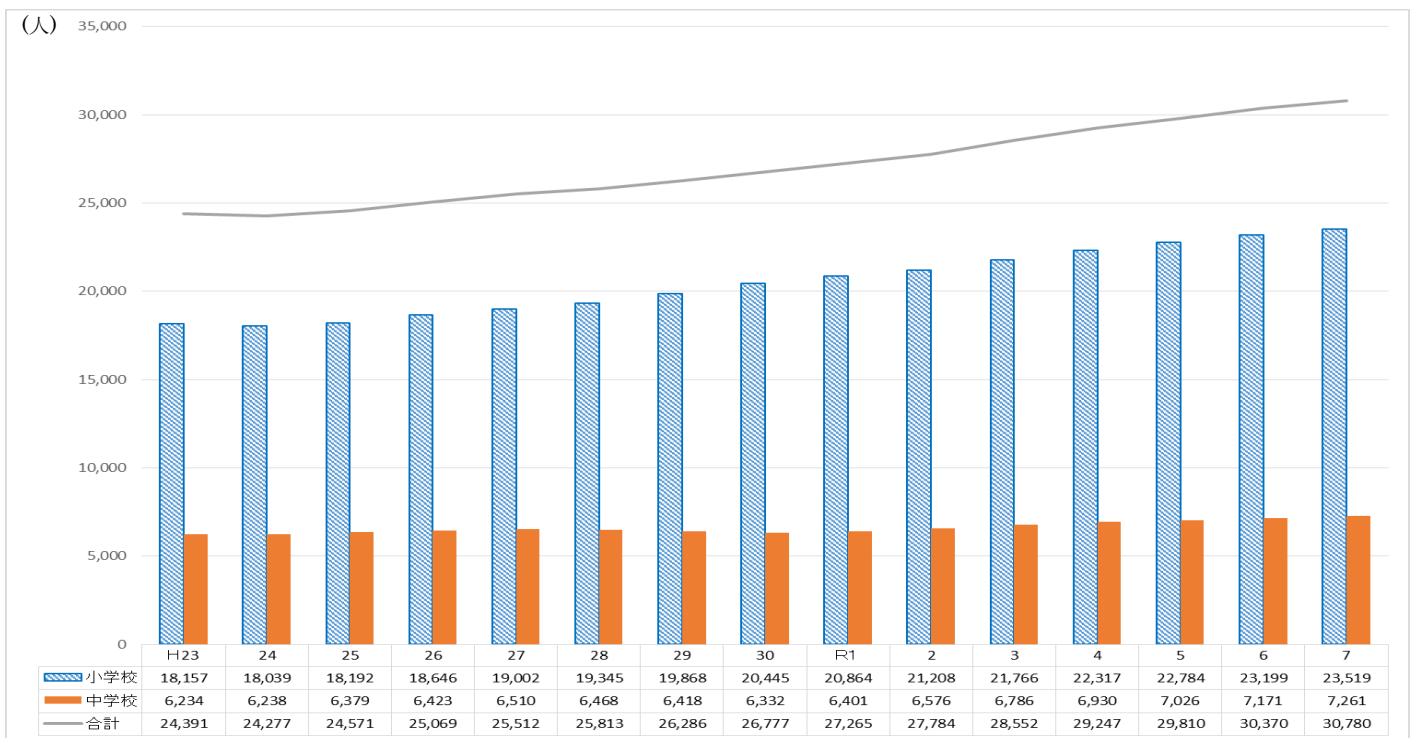


・ 数値は各年 1 月 1 日時点の 0～5 歳の杉並区住民基本台帳人口である。また、令和 3 年以降の数値は推計値である（「平成 30 年度杉並区将来人口推計」より）。

図 1 は、各年の 1 月 1 日時点での 0～5 歳人口であるが、各年の「就学前人口」を推測する参考資料として示すものである。0～5 歳人口は、平成 2 3 年から令和 2 年まで、一貫して増加傾向にあったが、平成 30 年度に区が実施した人口推計によれば、今後は減少傾向に転ずる見通しとなっている。

(2) 杉並区立小中学校在席児童・生徒数の推移（推計値含む）

(図 2)



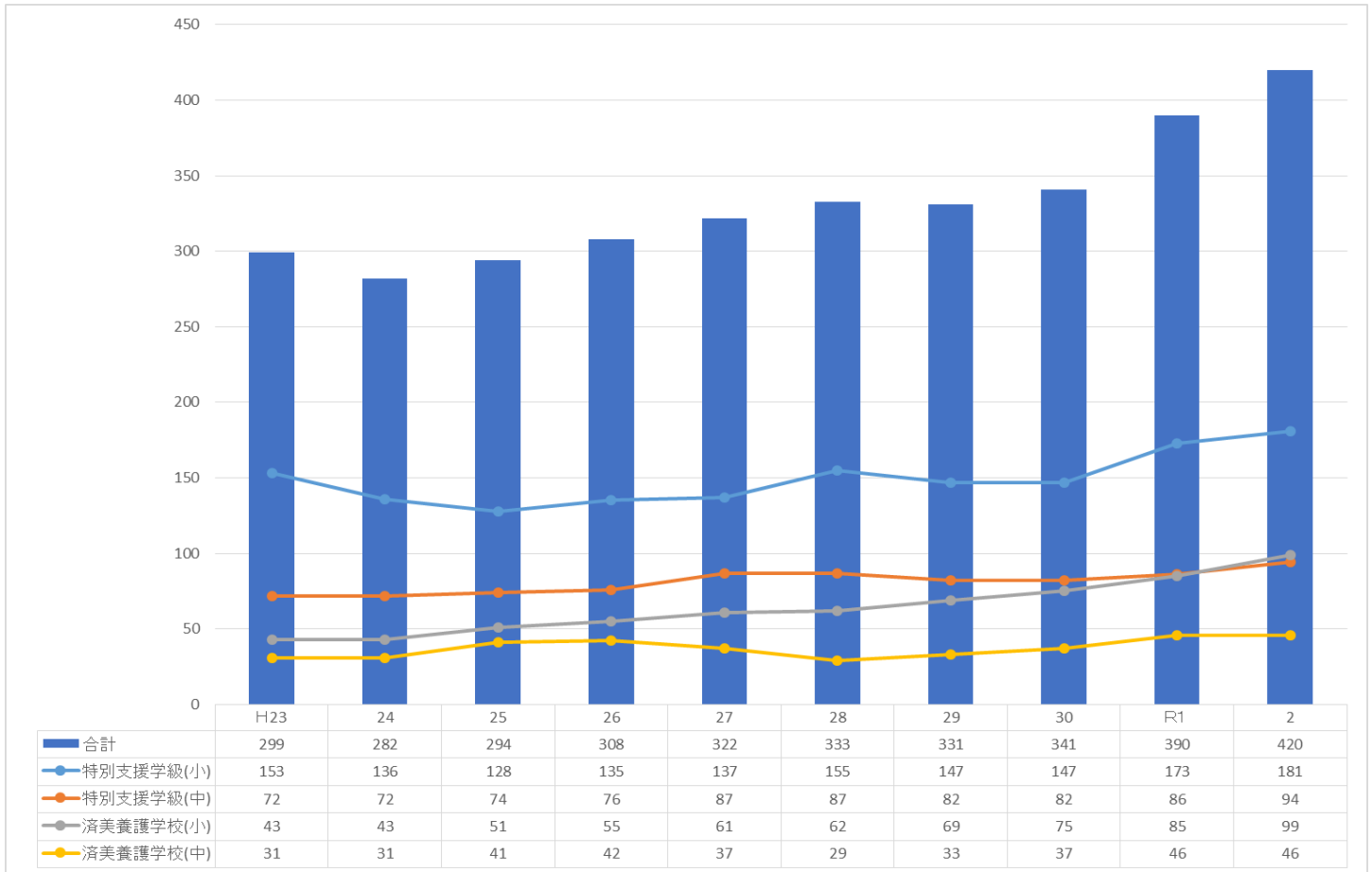
・ 数値は各年 5 月 1 日の人数。また、令和 3 年以降の数値は推計値である（東京都教育庁「令和 2 年度教育人口推計（速報値）」より）。

・ 人数には、各校の特別支援学級の在籍人数を含むが、特別支援学校（済美養護学校）の在籍者数は含まない。

図2のとおり、区立小中学校の児童生徒数は、区立中学校の生徒数が平成28年度から30年度まで一時的に減少する局面はあったものの、総数としては平成23年度から令和2年度まで一貫して増加傾向にあり、都推計によれば令和3年度以降少なくとも5年間は引き続き増加する見通しである。

### (3) 特別支援学級・特別支援学校在籍者数の推移

(図3)



- ・ 数値は各年5月1日の人数。
- ・ 区立小中学校の特別支援学級在籍者数と区立特別支援学校（済美養護学校）の小学部・中学部在籍者数をそれぞれ種別に折れ線グラフで表し、総数を棒グラフで表している。

図3のとおり、特別支援学級の在籍者数は、年度により増減があるものの、ここ10年間を通しては増加傾向にある。

また、特別支援学校（済美養護学校）の在籍者数については、小学部の児童数は一貫して増加傾向にあり、平成23年度から令和2年度の10年間で倍以上の人数となっている。中学校の生徒数については平成26年度から28年度まで減少したものの、29年度以降再び増加に転じ、現在に至っている。